

自分の出た学校がなくなるのは絶対いやや

甲賀市教育長「高校生をいい環境で学ばせてやってほしい」

16日は、甲賀地域を回りました。まず、宣伝の前に、高教組の黄之瀬書記次長と全教滋賀の田中委員長のコンビで、甲賀市の山本教育長を訪問し、懇談しました。私たちの説明に対して、教育長は「大幅な統廃合は必要ないと思う。だが、多少なりとも統廃合をすれば、浮いたお金は学校の施設設備の改善に使ってほしい。設備を良くして、高校生を良い環境で学ばせてやってほしい」と応じました。また、「今回の統廃合の動きは、全県一学区が伏線になっていると思う」とズバリ指摘しました。

高校生「学校がなくなるんですか。お母さんたちにも話す」



その後、貴生川駅を出発し信楽へ。信楽の役場(支所)前で演説していると、信楽の高校生が「学校がなくなるんですか、反対しているんですか」と寄ってきました。「もちろん反対してるよ」というと、「よかった。お母さんたちにも話す。もっと下さい」と、チラシを4枚持っていきました。甲南を回ったあと、貴生川駅で宣伝していると、高原鉄道で帰ってきたその高校生に再会しました。彼は友だち同士で書いた6筆分の署名を渡してく

れました。迎えに来た父親にも頼んで、家族分を追加しました。さらに駅前にいた同級生の女子3人にも「自分の出た学校がなくなるのは絶対いやや」と署名をすすめて、彼女たちも応じてくれました。対象校の高校生たちの反応は、素直で大きなものがあります。

9月24日(金)

教育長に署名を提出

ただ今署名は8,215筆。

(9/17現在)



希望ヶ丘団地 暗くなる中、1300戸にチラシ配布

午後6時から甲南の希望ヶ丘団地にチラシをポストインしました。6時半には真っ暗になってしまい、分担地域が分からなくなるなかの行動でしたが、約1300戸に配布することができました。

この日の行動には、高教組から栗東2人、甲南2人、信楽2人、玉川1人、水口1人、甲西1人、本部1人。全教から3人の合計13人が参加しました。

今後の宣伝行動に参加を

21日(火) 大津(湖西線沿線支部) 堅田駅 18:00~
22日(水) 大津(琵琶湖線沿線支部) 石山駅 18:00~
25日(土) 執行委員とともに 膳所駅 16:00~

高校統廃合はストップせよ

速報 第12号 2010/09/17 発行：滋賀高教組

(増し刷りして全教職員に配布し、また掲示板に貼るなどして下さい)